

# 当院では訪問診療において ICTツールを活用しています

医師が計画的な医学管理を行い、患者が円滑な自宅での療養生活を継続していただくことを目的に、在宅療養（医療、介護）をサポートする他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護事業者等の医療関係職種と連携し、ICTツール（医療介護専用のコミュニケーションシステム「メディカルケアステーション」(MCS)\*)を用いて下記の情報を相互に共有させていただきます。

- ・ 医師が患者の診療を行った際の診療情報
- ・ 医療関係職種が記録した患者の医療・ケアに関わる情報
- ・ 医師及び医療関係職種が患者の人生の最終段階における医療・ケア及び病状の急変時の治療方針等についての希望を患者・家族から取得した情報

以下の連携機関（医療・介護施設）とICTツール（MCS）を活用して、患者様の医療・ケアに関わる情報連携の実績がございます。

- ・ 一般社団法人可児医師会立可児訪問看護ステーション
- ・ よろずや訪問看護ステーション
- ・ ケアフル訪問看護リハビリステーション
- ・ 株式会社アイセイ薬局 アイセイ薬局可児店
- ・ JAめぐみのみたけ居宅介護支援事業所

※メディカルケアステーション（MCS）は、エンブレース株式会社が提供する医療介護専用のコミュニケーションシステムで、以下のような特長があり、必要に応じて利用する場合があります。

- ・ 医療介護従事者の連携を円滑に図るために、医療介護専用開発されたシステムです。
- ・ 医療情報等を安全に取り扱うためのセキュリティ、アクセス制御、管理体系が整った非公開型のシステムです。
- ・ 災害時等でも医療介護従事者間での連携が取りやすいように配慮されたシステムです。